

2022年2月28日

同窓会入会式挨拶

青森高校同窓会会長 沼田 廣

皆さん、ご卒業おめでとうございます。また、これ迄親身になってご指導くださいました長内修吾校長先生はじめ教職員各位には厚く感謝いたします。

青森高校同窓会を代表して皆さんの同窓会入会を心より歓迎申し上げます。

青森高校は、1900年(明治33年)の設立以来、4万人を超える卒業生を輩出し、今も同窓生は国内はもとより世界中で活躍しています。

さて、同窓会の目的は、会員相互の親睦と母校の発展を助成することですが、その目的を達成するために、1.同窓生親睦会の開催 2.会報の発行 3.会員名簿の管理 4.その他必要な事業等を行うことになっています。

もう少し詳しく説明すると、1.の同窓生親睦会の開催ですが、コロナ禍のためこの2年連続で開催できていません。平年ですと8月中旬にホテル青森で総会の後、約800名もの同窓生が集まる大懇親会を開催しています。また、県内では弘前市、むつ市に、県外では岩手県、宮城県、東京都、西日本にも地区同窓会が組織され様々な活動をしていますので、これからお住いの近くに支部があれば是非ご参加ください。

2.の会報の発行ですが、毎年8月の総会、懇親会に合わせ発行しています。同窓生の近況、同好会の活動紹介、同窓会支部の連絡先、母校の最新情報等を掲載しています。同窓会にはホームページもあり、覗いていただければ創刊号からの同窓会報を読むことができます。

3.の会員名簿の管理ですが、以前は数年に一度会員名簿を刊行しておりました。近年、個人情報の扱いが大変難しくなったことから刊行はとりやめていますが、名簿管理は更にセキュリティを厳重に行っております。皆さんのお名前や住所が変更になったときは、ホームページから連絡できますのでご利用ください。

4.のその他必要な事業ですが、創立120周年を記念して弓道場を作ったように、今後、周年事業等をする際にご協賛をいただきたいということです。

さて、私は、青森県立青森高等学校と青森県立青森女子高等学校が統合され今日の青森県立青森高等学校が誕生した昭和25年生まれの19回生です。

人生の多少先輩として、72回生となる皆さんへエールの言葉を贈りたいと

思います。それは「発想力は移動距離に比例する」というものです。

経営コンサルタントで、一部上場会社の株式会社船井総研ホールディングスを創業した故船井幸雄氏の言葉で、先を見通せない変化の激しい世界を柔軟に生きていく力を与えるものは発想力の豊かさであり、それは日本だけにとどまらず世界中を歩き、色々な人と交流し体験を積んでいくことで、より多く得られるものだということです。

実際、留学や海外旅行、ワーキングホリデイ等を経験した人から価値観が変わり発想力が増したという話を聞くことがあります。日本は一つの大きな文化圏であり、経済社会を形成していますが、外の世界から孤立して生きていくことはできません。これまで、皆さんが外国人の方と接する機会と言え、ALTの先生を除けばあまり多くなかったと思いますが、今後、更にグローバル化の波が押し寄せ、国内外で皆さんが外国人の方と一緒に仕事をする場合が多くなるでしょう。外国人の方とのコミュニケーションの際に、価値観と発想力の違いに驚くことがあります。ただ驚くだけではなく共生していくためには、多様性を認め合うことが大切だと思います。

私のことで恐縮ですが、50年前に経営学の勉強のためにアメリカ・オレゴン州ポートランドのルイス&クラーク大学に入り卒業してきました。その時の体験が私の発想の基盤となり、後半生を築いてきたと思います。

皆さんは、コロナ禍でシンガポール・ベトナムへの海外研修が中止となり大変残念な思いをされていると思います。この感染症もいつか収束する 때가やってきます。アフターコロナの時代には、出来るだけ海外に出て多くの人と交流し様々な体験をしてきてほしいと願っています。

最後に、皆さんに輝かしい未来が訪れますことと青森高校の益々のご発展を祈念申し上げ私の祝辞とさせていただきます。ご卒業おめでとうございます。